

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6枚中 その1 ) 平成30年1月17日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6枚中 その1 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

I. 次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典 : Smith, S. M. (2003). The constraining effects of initial ideas. In P. B. Paulus, & B. A. Nijstad (Eds.), *Group creativity: Innovation through collaboration* (pp. 15-31), New York: Oxford University Press. ただし, その一部を使用している。)

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6 枚中 その2 ) 平成30年1月17日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6 枚中 その2 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

II. 次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典：de la Fuente, J., Casasanto, D., Martinez-Cascales, J. I., & Santiago, J. (2017). Motor imagery shapes abstract concepts. *Cognitive Science*, 41, 1350-1360. ただし, その一部を使用している。)

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6枚中 その3 ) 平成30年1月17日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

( 6枚中 その3 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

III. 次の英文を日本語に訳しなさい。

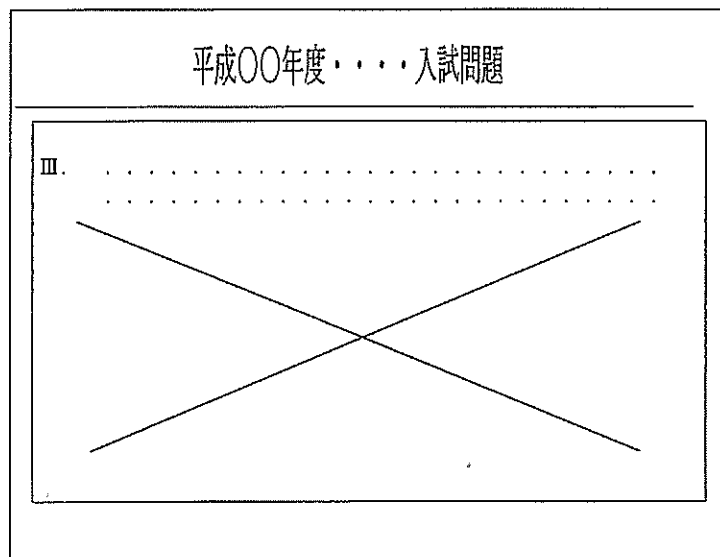
(出典 : Cramer, P. (2015). IQ and defense mechanisms assessed with the TAT. *Rorschachiana*, 36, 40-57.

ただし, その一部を使用している。)

その4からその6は省略

以下の文をよく読んでから  
解答に着手すること

1. 問題は I ~ V までの 5 問である。
2. I は必ず解答すること。
3. II・III・IV・V から 2 問を選んで解答すること。
4. 選択しなかった問題については、下の例のように、大きく×印をつけること。



5. 合計 3 問を解答すること。 4 問以上の問題に解答したり、選択しなかった問題が不明確だったりした場合は、すべての解答を無効とするので、十分注意すること。
6. 解答は、破線の枠内にのみ記すこと。枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。
7. 解答は、指定がない場合は、必ず日本語で記すこと。

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その1 )

平成30年1月17日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その1 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

1. 交互作用とはどのような効果かを、2要因の分散分析を行う研究の具体例を用いながら説明しなさい。日本語または英語で解答しなさい。

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その2 )

平成30年1月17日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その2 )

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

\*印欄は受験生記入不要

II. 1940-50年代に、ラジオやテレビなどのメディアの発展と普及に伴い、マスコミュニケーションの影響研究が盛んになった。その中で、態度変容、プロパガンダ、説得的コミュニケーションなどを含む「社会的態度」に関する研究領域が発展し、一時は社会心理学研究の中核的な存在となった。この領域について、下記の問題に答えなさい。日本語または英語で解答しなさい。

問1 態度を構成する3成分について、一つの態度対象を具体例として用いながら説明し、各成分が相互にどのように関連しあうのかについて論じなさい。

問2 メディアを通じて大衆の態度変容をもたらすためのコミュニケーションについて、情報処理モデルの観点から論じなさい。

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その3 )

平成30年1月17日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その3 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

Ⅲ. 以下の用語について簡潔に説明し、教育実践との関連についても論じなさい。日本語または英語で解答しなさい。

1. 認知的評価理論

2. 協同学習

3. 自己調整学習



# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その4 )

平成30年1月17日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その4 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

IV. 以下について説明しなさい。

問1 発達の最近接領域

問2 結晶性知能と流動性知能の発達

問3 社会的視点取得の発達

# 平成30年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その5 )

平成30年1月17日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

( 5枚中 その5 )

*整理番号	
-------	--

\*印欄は受験生記入不要

V. 以下に示す事項について説明しなさい。

(1) 自閉症スペクトラム障害

(2) 注意欠如・多動性障害

(3) 限局性学習障害